

建設・港湾など、安全第一のクレーン作業では、いまや日常会話のように複数の人が同時に話せる無線インカムが標準となってきています。クレーンに特化して開発された3者間同時通話の「ミックス・ジュニア」をおすすめします。超クリアな通話をはじめ、現場が求める厳しい基準をクリアした独自の設計は、スタンダードならでは。まさに基本を重視したベーシックなシステムです。

# 作業用連絡通信システム

No License

クレーン業務用ミックス

MS831





# クレーン作業の安全と能率を高めます。求め とにかく通話がクリア。親機1:子機2の無

▶▶▶ 現場で導入されてきている無線。

的確な指示・連絡で、共同作業の合理化をすすめ、安全も確保できる無線。 通信コストがかからず使い放題の無線。そして一斉全体連絡が便利な無線。

なかでもハンズフリーで電話のように話せる同時通話型なら、さらに話が早く、安全第一のアクティブな業務にピッタリ。

▶▶▶ 小·中規模クレーン作業のもっとも基本となる音声連絡システム――――3者間同時通話ができる無線インカム。



スタンドマイクCMP826、 子機 HX834+タイピン型マイク&イヤホン CMP816Bです。

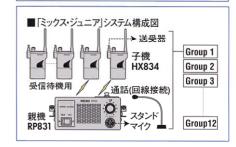
小・中規模クレーン業務専用の無線インカムです。 スタンダードのMulti InterCom System — MICS(ミックス)シリーズの、そのまさに基本となる3者間同時通話シス テム。「ミックス・ジュニア」です。クリアかつパワフルな音に象徴される高品位な通 話品質や、ワイドな電源仕様などで実現した優れた設置性、携帯型子機の確かな 信頼性……。まさに基本を重視した設計の無線インカムです。迅速・確実な連絡 と誘導で安全作業を徹底したい現場に、しっかりと応える音声連絡通信システム。 それが「ミックス・ジュニア | です。

## 3者間同時通話システムとは……。

クレーンの親機1台と携帯子機2台が常時 接続され、いつでも話せる状態になってい ます。モニターのための子機は増設自在。



全チャンネル内蔵。 同一現場で最大12グループ構築可能。



## ■クレーン作業用システム基本構成例

●親機RP831×1十親機用スタンドマイ クCMP826 ●子機(携帯型無線機) HX834+マイク&フォーンCHP820×2+ ヘルメットクリップ CMB821×2



# られていたシビアな基準をクリアしました。 泉インカムは、「ミックス・ジュニア」です。



▶▶▶ なぜ、無線インカムなのでしょうか。

3者間ハンズフリー同時通話が可能。2人が話し中でも、 日常会話のように、自然に話に加われ、大事な用件を即伝達できます。

緻密でスピーディな連絡のやりとりをすることにより、グループ作業をさらに効率よくさらに安全に進めることができます。

だから「ミックス・ジュニア」。と、ハッキリいえる、基本的な理由があります。

## 核となる親機。その実力が システムの信頼性を高めています。



親機(制御主装置)

# **RP831**

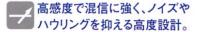
- ●寸法: 11.5(W)×6.4(H)×15.5(D)cm(突起物含まず)
- ●質量: 約1.91kg(ブラケット含む)



# 基本理由 1



#### 通話がクリア。



通話が快適です。 受信部はワンランク上の トリプルスーパーヘテロダイン方式。目的 の電波を鋭くキャッチします。さらに音声回 路のコンパンダーを、受信部で2台独立搭 載。受信音声が一段とクリアです。しかも 過入力を抑えるコンプレッサー回路や、電 源部のノイズフィルターの採用により、ハ ウリングやノイズをほとんど解消しました。

# 大口径・高出力スピーカーが メッセージを明瞭に伝達。

大型φ54mmで、3.5Wのパワフルなスピー カーを内蔵。騒音下でも音声をダイナミック に再現します。またスピーカーには防塵ネッ トを採用し、粉塵の多い現場での使用も安 心です。外部スピーカーにより、さらに良好 な音場をつくることも可能。

#### 基本理由 2



#### 取り付けがラク。



# DC/AC・2ウェイ・ワイド電源仕様。 小型設計。

DC-DCコンバーターを内蔵し、DC24Vに も対応。あらゆるクローラクレーンのバッテ リーに直結できます。さらにACアダプター で、タワークレーンや構内デスクトップに も。またコンパクトな一体型ボディは、天吊 りをはじめ車内に自在にセットできます。

# 基本理由 3



いろいろシッカリ。

#### 親切設計・安全設計。 それがRP831です。

●拡声器をつないで、一斉通報。●送・受 信ごとにセットできるトーンスケルチで、混信 を排除。●振動やショックに強い構造。● 本体上部内のスイッチでチャンネル変更。

# 携帯型子機の実力でも 選ばれる「ミックス」。

子機(携帯型無線機)

#### HX834

●寸法: 58(W)×106.5(H)×22(D)mm(突 起物含まず)●質量: 約170g(CNB840装着時)

※HX834単体では、通話を行なうことができません。オ プションの送受器が必要になります。

#### 優れた携帯性と水・衝撃に強いボディ。

10cmほどのミニボディは、JIS保護等級5防噴 流形の防水性能で、ポリカーボネート製とダイ キャストシャーシによる堅牢構造。

# 効率のいい、約13時間もの電池寿命。

繰り返し充電に強いリチウムイオン充電池は小 型·大容量。連続約11時間OK。単3乾電池も 使え、アルカリタイプなら約13時間のスタミナ。

### 業界初。5つの親機の設定を記憶。

5つの連絡網を記憶するシステムメモリー。ほぼ ワンタッチで、シームレスに他のグループの「ミッ クス」に通話参加OK。





システムメモリー表示

# 「ミックス」ならではの 車載型子機です。



子機(車載·据置型)

RP820B ●寸法: 11.5(W)×6.4(H)×

10.5(D)cm(突起物含まず)●質 量:約0.99kg(ブラケット含む)

※オプションのスタンドマイクが必要です。

●クローラクレーンのバッテリーに直結できる DC12-24V対応。●全チャンネル内蔵。前面ダ イヤルでチャンネル変更可能。●天吊り・据置自 在なコンパクトボディ。





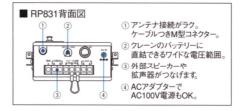
「ミックス・ジュニア」の、 よくあるご質問に お答えします。

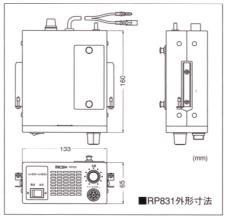
ン スタンダードの同時通話システムには、 他にどんなものが……。

最大1:8システムのミックス・プロ。必要なだけ子機がゆきわたる設定もできます。中規模用なら、音と感度に優れたミックス・ライトで1:4システム。また1:1なら、特定小電力無線。車載型も用意しています。同時通話型で確かな納入実績を誇るスタンダードです。

すでにミックス・プロを1:7システムで、
ミックス・ライトを1:4で使っているが……。

無線インカムには、送・受信周波数を組み合わせたチャンネルプランというものがあります。理論上では、送信周波数にまだ余裕がありますので、追加可能。ただし、お手持ちのミックスとチャンネルがバッティングしているかもしれません。販売店にご相談ください。またミックス・ジュニアを同一現場で12グループ使う場合、それぞれが隣接していると、音がかぶることがありますので、ご注意ください。





#### 「ミックス・ジュニア」システム構成機器主要定格

■子機HX834【一般仕様】●送受信周減数:400MHz帯の上り(送信)72 チャンネル、下り(受信)24チャンネル・電波形式:FSE、F2D・通信方式:復信 方式・受信格電圧:3、7V・登銭方式:水晶発振により制御する周波数シンセサ ゼザー方式・●周波数の許容差止4.0ppm・アンテナ・ハリカルアンテナ(着脱 可能)●周波数切替方式:手動切替(画助)財・ゴ法(突起物含まず):58(W) ×106.5(H)×22(D)mm(CNB840装着時)・資量:約170g(CNB840装着時)(受信部)●受信方式:ダブルス・ル・ヘテロダイン方式・受信感度:44B ル以下(12dB SINAD)●スケルチ感度:66B μ以下●低周波出力:3mW以 上(80負荷)[送信部]・送信出力:4mW・変調方式:可変容量ダイオードによる直接周波数変調

■子機RP820B【一般仕様】●送受信周波数:400MHz帯の上り(送信)72 チャンネル、下り受信)24チャンネル●電波形式 門3 ●通信方式・捜信方式 ●電源電圧:DC12~24V●使用電源範囲:-10℃~+50℃●発振方式:水 晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式●周波数の許容差:土 4ppm ●周波数切替方式:手動切替/自動切替●寸法(突起物含まず):115 (W)×64(H)×105(D)mm(突起物は除く)●質量:約0.99kg(ブラケット含む) 【受信部】●受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン方式●●受信感度:-100B 東以下(120B SINAD)●受信出力(SP出力):1.5W以上(歪率10%にて)【送信部】●送信出力:1mW以下



安全に関する \ ご注意 ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。 ●不安定な場所や水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。 事故、火災、感電、故障などの原因となります。 ● 「保証書」は、記入事項をご確認のうえ、大切に保管してください。 ● 「取扱説明書」に従って、正しく配線を行なわないと使用できません。



Radio Communications 株式会社スタンダード www.standard-comm.co.jp お求めは信用とサービスの当店で